

認定特定非営利活動法人 名古屋能楽振興協会
(認定 NPO 法人)

会報

2022年

羽衣

ご挨拶

理事長 柴田雄次

2021 年は TOKYO2020 オリンピックが開催されましたが 2020 年同様に新型コロナ第 3 波から第 5 波とコロナ感染防止対策として緊急事態宣言、蔓延防止対策法施行により 人的交流を基本にした文化的な生活は大幅に制約を受けました。能楽公演も中止、政府指針に基づいた感染対策を条件として規模を縮小した公演となりました。

厳しい環境の中「舞台芸術である能楽の振興に寄与することが使命である」この時こそ支援をすべき使命があります。これからもこの使命を果たしていくため当 NPO 法人は全力を注いでまいります。

2022 年は第一回・二回のワクチン接種効果による集団免疫獲得で、猛威を震った新型コロナ禍も沈静化に向かい平常な生活が取り戻せそうです。しかし ウクライナ戦争・インフレ懸念高まるなど不透明感が漂います。

日本人のやさしい心、平和を愛する心、近隣友好への気配りを取り戻すために 伝統古典芸能である「能楽」の魅力はさらに高まると信じております。

当 NPO 法人が 12 年以上能楽の支援活動を続けられるのも、多くの会社各位と篤志家様のお陰であります。ここに皆様に深く感謝申し上げます。また さらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

<活動概況報告>

会員・賛助法人の皆様には、当協会の活動をご支援いただき誠にありがとうございます

2021 年は 感染力を増したコロナ第 4・5 波が襲来し感染予防重視の立場からの感染対策のしっかりした名古屋能楽堂での能楽公演支援と案内に絞ってまいりました。

共催事業としては 唯一 和泉流野村又三郎狂言師の「狂言三の会」の支援を行うことができました。

しかし、飲食を伴う「蠟燭能」(名古屋東急ホテル)および「復活:名古屋城薪能」(愛知芸術劇場)「淡交会」「名古屋観世会」(名古屋能楽堂)は緊急事態宣言発出により感染防止の観点から支援を中止いたしました。2022 年春にはコロナ終息気配となり「第 64 回やるまい会」(5 月)「淡交会」(7 月予定)への共催を進めております。

「名古屋城薪能」については 2 回の延期から名古屋城薪能実行委員会解散となり残念ですが開催を断念することになりましたことを報告いたします。

2 年にわたるコロナ禍・ウクライナ戦争によるインフレ・円安による景気変動など不透明要素が多く賛助いただいております企業様の業績不振から退会されるところもでており先行きに不安がありますが 可能な限り目標である「能楽振興」に取り組みますので 引き続きご支援よろしく申し上げます。(事務局)